大宮神社社報

社報第13号
大宮神社
旭区大宮
三の一の三七

平成二十八年　夏季大祭

七月二十五日　月曜日　十一時　献湯神事
二十六日　火曜日　十一時　夏季大祭
神楽奉納（拝殿ご昇殿）午後三時～九時

暑い盛りの七月末には当社の夏祭が行われます。本年も例年通り宵宮には献湯神事、本宮には夏季大祭を斎行します。

神楽奉納は拝殿ご昇殿にて承り、巫女神楽を間近にお受け頂けます。

地車巡行など神賑行事について詳しくは後日境内掲示にてお知らせします。

夏休みに入った子供たちが多く訪れて、たくさんの夜店が賑わう当社の夏祭に皆様でぜひご参拝下さい。

夏季大祭の巫女神楽奉納。大祭は氏子崇敬者と来賓が多数ご参列され、本殿にて斎行される。

昨年の大宮地車のお祓い

夏祭神饌料を承ります

神饌料を賜りますと、祭当日に拝殿ご昇殿にて神楽奉納、撤下品を授与します。奉納者名を境内の掲示板に掲示します。詳しくは社務所までお尋ねください。

秋祭神輿お渡り奉仕者の募集

平成二十八年十月二十二日　土曜日
午後二時三十分集合（予定）

昨年の秋祭では、約六十年ぶりに神輿お渡りが復活し、盛況のうちに無事巡幸いたしました。今年も氏子崇敬者様より広く奉仕者を募集いたします。貴重な神事にぜひご参加ください。

奉仕者にはお揃いのはっぴをご用意します。当日は神社でお祓いの後、境内を出発。旗や鉾など威儀物を持った白丁装束の奉仕者を先頭に大宮地区を約二時間巡幸します。台車に乗せた神輿を引き綱で引くので、年齢男女問わずご参加いただけます。巡幸後は神社にて直会。神輿巡幸は、大宮みこし会子どもみこし巡行と合わせて行います。詳しくは社務所までお問い合わせください。

昨年秋祭のお渡りでは30余名がご奉仕。
約60年ぶりの復活に大宮地区が賑わった。

神道豆知識　茅の輪の由来―蘇民将来の伝説

六月三十日の夏越大祓。茅の輪の由来をご存知ですか？

『備後国風土記』によると、北海の武塔神が妻問いの旅の途中、蘇民将来兄弟に宿を求めました。裕福な弟は拒否しましたが、貧しい兄は歓待しました。後に武塔神がお礼に訪れ、兄将来に子孫の有無を問い、兄が「娘が一人」と答えると神は「その娘の腰に茅の輪を付けよ」と命じます。その夜に娘以外の一族は死んでしまいました。後に武塔神は自らをスサノヲ神と名乗り「後の世に蘇民将来の子孫と名乗って茅の輪を腰に着ければ、疫病から逃れられるであろう」と告げました。夏越大祓の茅の輪くぐり神事や茅の輪守はこの伝承に由来するものです。

境内だより

心に残る日本の名言「言葉の鏡」を配布物にして、月替わりで社頭に置いています。裏に名言の意味や行事予定を記しています。ご自由にお持ちください。

祈祷案内

初宮詣　七五三詣
家内安全　厄除
病気平癒
自動車祓
改築・転宅清祓
地鎮祭など各種
出張祭典
お電話で
ご予約下さい
☎０６（６９５１）２１９６